

令和 7 年度 関市特別職報酬等審議会【全 2 回の会議要録】

■第 1 回 令和 7 年 8 月 26 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分

■場所 関市役所 3 階庁議室

■出席者 委員全員、事務局

■会議内容

●市長から各委員に委嘱状交付

●市長あいさつ

●会長の互選、職務代理者の指定

・会長：鈴木良春さんに決定

・職務代理者：中嶋亘さんに決定

●市長から会長に諮問書を手渡し

●第 1 回審議会の会議要録

□事務局：審議会の公開、非公開の取扱いについて説明。

○審議会：審議会の公開、非公開の取扱いについて決定。

□事務局：諮問事項及び資料の説明。

□事務局：今後の審議の進め方について説明。

○審議会：今後の審議の進め方について確認、決定。

◎会長：事務局の説明に関しまして質問等あればご発言を。

○委員：県内市の特別職給料・議員報酬一覧の資料について、直近で改定している市もあるので、改定した市の内容及び理由についてもう少し詳細な説明をお願いしたい。

□事務局：資料 5－1 を説明。直近 2～3 年で改定した市を理由と共に説明。

◎会長：それでは、諮問事項について 1 つずつ審議し、会として一定の結論を出せるよう議論を進めていきたい。まず初めに、諮問事項（１）の市議会議員の報酬について、議論をするにあたり事務局より説明をお願いしたい。

□事務局：資料説明。

◎会長：市議会議員の報酬について、各委員から意見聴取。

○委員：この報酬等審議会はどういう時に開催されるのか。

□事務局：開催時期に関しては明文上の決まりはないが、市長の任期の 4 年の間に 1 度は開催する方針としている。前回の開催は令和 3 年度、その前は少し間が空きますが平成 27 年度に開催している。

○委員：活力のある若い議員が積極的に活動することで、関市にも活力が生まれると思う。若い人にも議員になっていただくためには、議員報酬で生活が出来るような十分な額が必要なので、現状の議員報酬を増額しても良いと考える。

○委員：人口規模から考えると標準的な報酬額であるが、市の財政力で比較すると、報酬額は若干高めの金額であると思う。しかしながら、昨今の物価上昇や賃金の上昇を考慮すると、他市と比較し妥当な額であるため、据え置きが良いと思う。

○委員：人口減少が加速する中で、人口が減れば当然税收も減少することを考えると、昨今の賃上げの情勢を踏まえても、今報酬を増額することが適切かと問われると疑問を

感じる。また、議員報酬を考える上では、議員定数についても考える必要があると考える。

○委員：現状では、他市と比較しても報酬額は現状維持が適当と考えるが、市の収入が減少する見通しの中、将来を見据え報酬額は議員定数を踏まえ検証する必要があると感じた。

○委員：議員定数は過去に見直しがあつたと記憶している。他市と比較すると、高山市が比較対象と思われる。その高山市の報酬額と比較すると現状の報酬額を上げることは難しいように思えるが、議員のなり手を増やす手段として、議員報酬を上げるのもひとつだと考える。

○委員：人口減少が加速すると予測される中、議員報酬を上げることが適切なのか疑問に感じる。

◎会長：複数の委員の方々から、議員定数について意見があつたが、本審議会の諮問事項ではないので、ご意見として記録に留めるのみにしておきたいと思う。いろいろな意見を伺ったが、本審議会として諮問事項に対して結論を出す必要がある。各委員の意見で、減額という意見はなかったので「据え置き」または「報酬額を上げる」のであればどの程度上げるべきか、みなさんの意見を再度伺いたい。

○委員：人口が減少する中で、報酬を上げることは財政負担となり簡単ではないと思う。しかし、市民のために議員活動を積極的に行ってもらうためにも、少額でもあげることが必要ではないかと思う。額は、県内の人口規模が近い、可児市・高山市の議員報酬額と比較すると、数千円程度が妥当と考える。

○委員：将来的に議員定数に変動があつた際に、その時の財政状況や人口を踏まえ議員の負担等を鑑みて増額を検討することが望ましいのではないか。現状、他市と比較しても特段低い訳でもないため、現状維持が望ましいと思う。

○委員：現在の報酬額は、市の管理職と比較しても低いわけではないため、現状維持で良いと思う。

○委員：先ほど、若い人が議員になっても生活できる程度の報酬が必要という意見があつたが、一般企業で働いて、この報酬額になるために、どれだけのキャリアが必要になるかを考えると妥当な金額ではないかと思う。市の財政的にも人口減少により収入が減る中で、市民目線から見ても現状維持が望ましいと考える。

○委員：最後に、今回の議論は人口減少を踏まえたうえでの結論となつたと感じましたので、資料にある人口推計の未来の予測値について、どの程度正確性があるか事務局に説明を求めてもよろしいか。

□事務局：資料の人口推計の数字につきましては、国勢調査の数字および、国立社会保障・人口問題研究所が出している数字を基にした。ただし、直近の子供の出生数を踏まえると現実はずっと減る可能性も否定できない。

◎会長：多くの意見に感謝。各委員の意見を総括すると、現状維持が望ましいという意見が多かった。よって本審議会として、諮問事項（１）の市議会議員の報酬額について「現状維持が望ましい」という結論とする。

○委員：異議、追加意見無し

◎会長：それでは次に、諮問事項（２）の市議会議員の政務活動費について議論したい。

事務局より説明をお願いしたい。

□事務局：資料３、５、８、９を説明

◎会長：市議会議員の政務活動費について、各委員から意見聴取。

○議員：政務活動費の支給方法について、どのような手続きを踏んで支給されるのか説明を求める。

○事務局：政務活動費の支給の方法、流れについて説明。

○委員：他市と比較して平均的な額であることから、現状維持が望ましいと考える。

○委員：直近の実績を見ても返金がない現状を踏まえると、政務活動費は現状維持で良いと思う。

○委員：他委員と同意見で、しっかりと用途を証明したうえで差額を返金していることを踏まえると現状維持で良いと感じる。

○委員：返金されている現状を踏まえると減額も考えられますが、現状維持で良いと思われる。また、政務活動費がゼロ円の市は、議員報酬に政務活動費が含まれているという理解でよろしいか。

□事務局：一例ですが、美濃市では政務活動費も踏まえ、直近の改定で報酬を１万円増額したという事例もある。

◎会長：各委員の意見として、現状維持という意見が多く見受けられた。会派ごとの支出を見ても、ゼロ円という会派もある。実績報告等も真摯に報告していただけていると私は理解している。以上を踏まえ、本審議会の結論として「据え置きとする」という方針でよろしいか。

○委員：異議、追加意見無し

◎会長：次に、諮問事項（３）の市長、副市長、教育長の特別職の給料の額について議論したい。事務局より説明をお願いしたい。

□事務局：資料４～７を説明

◎会長：特別職の給料の額について、各委員から意見聴取。

○委員：前回３％の引き下げをしているため、今回さらに減額することはないのではないかと思います。

○委員：経済状況や、賃上げの情勢を踏まえると上げるべきですが、前回の減額の理由が人口減少に伴う減額としているため、今回減額をする理由がないと思う。現状維持が妥当ではないか。

○委員：人口減少は進んでいるが、市の財政状況は決して悪くないという現況を踏まえ、前回下げているので、当面の間現状維持とし今後の財政状況を見ながら再度判断するのが望ましいと思う。

○委員：他委員と同意見。人口が減少すれば税収が減り財政状況が悪くなるが、現状の関市の財政状況を見ても現状維持で当面は問題ないと考える。

○委員：３年前の減額理由は人口減少としていますが、背景にコロナの影響もあったのではないかと推察している。昨今の人事院勧告も、昨年、今年と大きく上がっていることを考えると上げる選択肢もある。一方で、前回の審議会の答申を受け、減額をした市長や市の思いを考えると、現状維持か上げるのであれば３％を戻すという選択になるのではないか。

- 委員：特別職の給料について賞与も含め年額で見ると、市長が約 1,500 万円。副市長が 1,200 万円、教育長が 1,000 万円となる。この金額が多いのか少ないのか、なかなか判断がつかないところだが、特別職は、土日や夜間関係なく公務をされている。そういうものを時給換算すると、もう少し額を上げても見合った仕事はされていると思う。適切な金額は分かりませんが、少額でも上げるべきだと思う。
- ◎会長：各委員の意見をまとめると「下げる」という選択肢はなく、昨今の情勢や労働に対する対価を考えると「増額すべき」という意見や、人口減少が確実に進んでいる中で財政状況を見て「現状維持」という意見が聞かれた。非常に悩ましく難しい諮問事項であると感じている。「据え置き」なのか、また「増額する」のであればどの程度上げるべきなのか、金額や割合について再度議論したいと思う。
- 委員：前回 3%減額した際に、議員報酬が減額していないことを踏まえ、他市の特別職の給料額と比較してみると、今年の人勧並みの増額も良いのではないかなと思う。
- 委員：一般企業で考えると財政力や収入が増えれば増額も考えられるかなと思う。資料（関市の歳入）を見ると収入が増えているため、増額する要素として 1 つあるのではないかなと思う。
- 委員：市の財政状況を踏まえても、前回減額した額の半分程度上げて良いのではないかなと思う。
- 委員：自分の中では現状維持という思いが強いが、人事院勧告では 3%から 4%、公務員の給料を上げる内容になっていて、また、一般企業も賃上げが進んでいる現状を考えると、増額を検討して良いという気持ちになった。
- 委員：前回下げた分を戻すという選択肢もあるとは思いますが、他市と比較しても現状維持が望ましいと思う。
- 委員：当初意見したとおり、増額が望ましいと思う。
- ◎会長：再度、各委員の意見をお聞きしたところ、「前回減少した分を戻したらどうか」という意見が多いように感じた。
- 委員：前回下げた分を戻すことは賛成ですが、1 点、前回人口減少を理由に減額した中で、今回戻すという答申に、説得力のある理由となるのか疑問に感じましたが、みなさんいかがでしょうか。
- 委員：人口減少を理由としていますが、詳細は人口減少に伴う将来的な財政状況、特に収入減を鑑みて減額してるのではないかな。確かに、人口減少は進んでいるが、財政状況が前回よりも悪化しているわけではないので、昨今の物価高や賃上げ情勢も踏まえると、戻す理由としては十分だと考える。
- ◎会長：たくさんの意見に感謝。まとめると、市長、副市長、教育長の特別職の給料は、「前回減額した 3%分を戻す」という意見が多く、委員の同意も得られたと感じている。この内容を本審議会の結論としてもよろしいか。
- 委員：異議、追加意見無し
- ◎会長：各委員の協力に感謝。これですべての諮問事項に審議会として結論を出すことができた。これで本日の審議会を終了する。
- 事務局：本日の審議会の結論を「答申案」としてまとめる。「答申案」ができ次第、各委員に送付する。今回は「答申案」の内容について議論いただきたい。

■第2回 令和7年9月29日(月) 午前10時00分～午前10時30分

■場所 関市役所3階庁議室

■出席委員 委員全員、事務局

●第2回審議会の会議要録

◎会長：それでは、前回審議会の結論をまとめた「答申案」について、事務局より説明をお願いしたい。

□事務局：前回出た意見を紹介。答申案を説明。

◎会長：答申案について、各委員から意見聴取。

○委員：前回の審議会での意見が反映された答申となっており、問題ない。

○委員：特別職の給料については、現状維持の意見もあったが、答申案はその意見も汲み取られている。

◎会長：各委員から追加の意見や異議はなかったため、この答申案のとおり、議員の報酬、政務活動費そして特別職の給料については「概ね妥当な水準」にあるが、特別職の給料については、「令和3年度の額に戻すことが妥当である」と記載することによってよろしいでしょうか。

○委員：異議、追加意見無し

◎会長：以上で当審議会としての結論が出た。2回にわたる審議会の進行について、各委員の協力に感謝。事務局に答申書を作成してもらい、私と職務代理者の2名で市長へ手渡しする。これで全2回にわたる令和7年度の審議会を終了する。